



志佐



星麿



調川



福島



御厨



今福



# 祝平成31年 成人式

平成31年松浦市成人式が1月4日、文化会館で開催されました。

今年の市内の新成人は男性132人、女性139人の計271人。式典は小森惇史さん（志佐町）と高田真亜子さん（調川町）が司会を務められました。

友田市長は、「皆さんは次の時代の新成人として、日本を支える存在となります。経済の不況や幾多の大きな自然災害に見舞われながらも、少しずつ発展してきた平成の日本を、次の時代にはどのようにしていきたいのか、一人ひとりが真剣に考え、適切な方法で意思表示をすることが、我が国の発展のための大きな力となります。ふるさと松浦、そして、我が国の次代を担う存在であるという強い自覚と意思を持って、それぞれの夢の実現に向け、活躍されることを期待します」と式辞を述べました。

新成人の代表者が「二十歳の抱負」を述べた後、田中颯介さん（御厨町）が交通安全宣言を行い、最後に、星野佑和さん（今福町）が市長から記念品を受け取りました。



鷹島





## 二十歳の抱負



新成人代表  
なかた あつき  
永田 篤樹さん (福島町)



新成人代表  
なかむら さよみ  
中村紗洋美さん (鷹島町)

私は、中学校を卒業後、親元を離れ佐世保高専に進学しました。中学生の頃は早く地元から離れたいとかばかり考えていましたが、寮生活を始めた時、初めて、親へのありがたみ、喜びや悲しみを分かち合う仲間の大切さ、見守ってくださった地域の方々や松浦の雄大な自然、当たり前だと思っていたことへの感謝を痛感しました。今、こうして中学校の頃の仲間とともに松浦市の新成人となることを誇りに思います。

現在、佐世保高専で卒業研究に追われる日々を送っています。何か一つのことを成し遂げようとするとき、そこには多くの壁が立ちふさがりますが、そんな時、私はとてもワクワクします。この壁を乗り越えることができれば自分自身が成長すると考え、これからも社会に貢献できるような技術者になるため、多くのことに挑戦し、成長していきたいです。

私は現在、小学校の教員を目指し、沖縄県の大学に通っています。離島へき地教育や平和教育について深く学びたいと思い沖縄の大学に進学しました。将来松浦へ戻ってきた際には、沖縄で学んだたくさんの方のことを子どもたちに伝えることで松浦に還元したいと思っています。

私たちは二十歳という大きな節目を迎えました。無事この日を迎えたのも、二十年間育ててくれた家族、指導・助言してくださった先生方、温かい声かけをしてくださった地域の方、日々をともに過ごした仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、松浦市で育った誇りを胸に刻み、周囲の方々に期待される社会人として歩んでいきたいと思っています。

新成人として、大人としての自覚と責任を持ち、一步一步確実に進んでいくことをここに誓います。

※紙面の都合上、内容は一部要約して掲載しています。

※地区別の写真は当日呼びかけをして参加いただいた人で撮影しております。